

勝林寺奇報



慈悲のこころ

「慈悲」(マイトリー・カルナー)。その人の身になつて苦しみを共に呻く。その人の身とひとつになつて、あわれみ、悲しみ、はぐくむこと。それが慈悲といふことです。

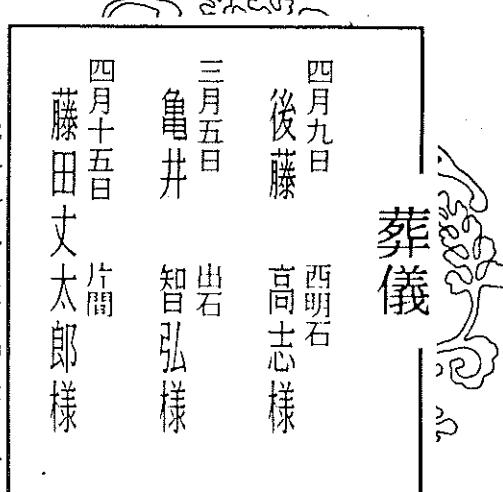
ところが、この娑婆の世界では、どんなに親子夫婦であつても、思いとしては慈悲のねがいはあっても、実際には、人の身とひとつになつて苦しみ呻くなどといふことは、実際にはできない、言ふに言わぬモドカシサがあります。

最近の臓器移植のことなどから明らかになつたように、人の身はそれぞれに、他を受け入れないことによつて自己を守らうとする「免疫」というはたらきのあります。どうしてやつになれないそんない依怙地なあいのちを生きているのがおたがい人間であるのです。病に苦しむわが子を目の前にしての親の嘆きは、この子の苦しみをなんとか変わつてやりたいと願えれば願うほど、どうもがいても変わつてやれない人のいのちのモドカシサ。

「聖道の慈悲というは、ものを憐れみ、かなしみ、育むなり。しかれども、思うがごとく助け遂ぐること極めて有り難し。」

「今生に、いかにいとおし、不憫とうとも、存知のごとく助けがなければ、この慈悲始終なし。」

「慈悲始終なし。」



葬儀

四月九日
後藤

三月五日
鶴井

四月十五日
藤田丈太郎様

片間

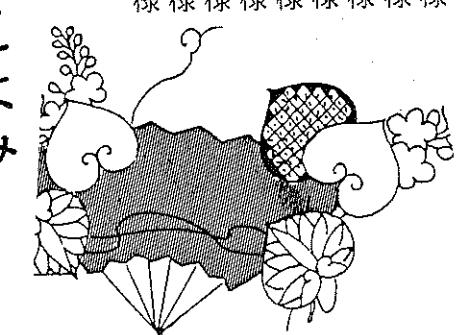
大谷本廟は京都の東山五条坂にあります。

大谷本廟へ
納骨

大谷本廟は京都の東山五条坂にあります。

岩出辰太郎様
水嶋もよ様
坪木ヒノ様
岩出佐一様
生田静子様
藤田丈太郎様
中山信太郎様

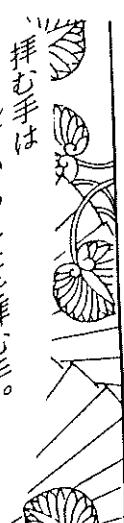
五月のこよみ



五月一日 同寺永代経
二日 永井淳氏宅法事・永井孝一
三日 郎氏宅法事・宮嶋幸彦氏宅
九日 建墓式
四日 中島喜久雄氏宅法事・中嶋
英夫氏宅法事・永井均氏宅
法事・西本孝一氏宅法事
五日 数森一男氏宅法事
六日 兵庫教区仏社連盟総会
九日→十三日 坂本克美氏宅法事
十九日 阪神定例布教
二十日 後藤博氏宅法事
玉井克弥氏宅法事・中島俊
昭氏宅法事
二十一日 宗祖降誕会(ごうたんえ)
二十六日 大谷本廟納骨
二十七日

坊守の入院ということで当初予定していいた研修旅行を取りやめていただきましたので、今年は特別に納骨月曜日だけの参拝になりました。

ご了承ください。
拝納骨いたします。
拝む手は
拝まれていることを拝む手。
ああ、そうでしたかと出会わせていただけた手。



還相廻向（げんそうえこう）



相（すが）この世に還（かえ）つて相（すが）た）をあらわし、わたしたちにはたらきかけるのだと。

この子、還相の菩薩さま。

かわいそうに生れつきどうしても助からない病氣であったのだそうです。それでも病院の先生の、それこそ懸命なおてあてをいただいて、あの子、ちょうど一年と一ヶ月、私の孫としてこの世においていたいたのです。

どうせ助かりはしないと知りながら、いや、そうであればあるだけに、この子の母も私も、まるまる半年この子に付ききりで、息たえだえのこの子の小さな呼吸をいつしょに呼吸してきたのでした。その子が死にました。

「消え入るよう」ことばの通りスーと亡くなつてゆきました。

あれから二年たります。二年たちますが、あの未熟児でうまれてそして一年そこそこで私達の前から去つていった子のこと…。いつたいたいあの子、なんのために生まれてきたのだろうか。なにをしに私のところへやつてきたのだろうか。あれを思いこれを考へしかしどう考えてみても私の思いは晴れませんでした。

それが不思議です。

この間、内々の家族だけでこの子の三回忌の法事を當みました。

そのときお参りいたいたいお寺様。おつとめのあとのご法話でした。《還相廻向》（げんそうえこう）といふ、今まで聞いたこともないことをお話ししてくださいました。

如来さまのおはたらきにからめとられて、如来様の国に往（ゆ）かせていただけます。如来の國に往き生れたものは、如來さまのおはたらきといつしょに、《還如

出石組『連研』へ 六名参加

第七期の出石組『連研』が四月二十二日（その第一回を出石正福寺の会場）から始められました。

一応各寺に男女各2名の研修生が割り当てられておりましたが、勝林寺は希望者がおおくて選考した結果、本期はつきの六名の方々に研修していただくことになりました。

中嶋武志氏（坪口） 古田敬治氏（出石）
横山誠氏（榎見） 生田良子様（出合）
岸下菊美様（保谷） 湯口初枝様（榎見）

出石組全体では十七ヶ寺六十五名の研修員でした。厳しい研修ですがどうぞ最後までがんばり通してくださいますよう応援ください。

次の研修は9月30日の予定です。

この子に出会えた不思議さを思うにつけて、ああほんとにこの子、還相廻向の子と気付かせていただき、まいにちお仏壇にお念仏申させていただくこのごろでございます。（加古川市 吉本光江）

日程決まる



本堂のお花がいいつたいいどなたが？



四月のある朝、本堂のおつとめをして

いて驚いた。なんと本尊前卓の大きなお

はなが、見事に立て変わっているではないか。もうそろそろかえなければと思つた。みれば素人とは思えぬ生けぶり。家

族にきいたがもちろんしらんという。あ

る方々に個当たりしてみたがわかりません。十日すぎてもつかめないのでさが

すことを諦めかけていました。ある人がそつと知らせくださいまし

た。龜井孝さまだということでした。

菊の香のいっぱいにただようお花でありました。

ありがとうございました。

『法輪会』というのは出石組「連研」の修了者が組織する教化団体です。組内に約180名の会員がいます。春と秋、二回の研修会をもつてきましたが、今後その研修会の充実を図るために次のように日程を設定しました。会員のみなさんご予定ください。